

中学部「職場施設見学」のようすをお知らせします

中学部2・3年を対象に、9月27日（金）に職場施設見学を実施しました。行き先は、藤崎町にある就労継続支援B型「あいおらいと」および就労継続支援B型「麺工房はばたけ」、弘前市のカブセンター神田店です。今年も会社や福祉施設での仕事を見学し、高等部卒業後どんな仕事があるのか、やりたい仕事があるのか等、それぞれの思いを胸に真剣な眼差しで見学していました。

「あいおらいと」では、施設内の清掃や様々なキノコ類の栽培管理、食品加工施設等を見学させていただき、菌床でのキノコ栽培とそこでの仕事について具体的な説明を聞くことができました。

「麺工房はばたけ」では、小麦を機械にいれて混ぜ、出てきた麺の重さを正確に量り、袋に入れてラッピングするまでの一連の作業を見学しました。昼食は、先ほど見学した「麺工房はばたけ」隣の「藤翔製麺」でした。なんと先ほど作られた麺を使ったラーメンを食べることができたんです！（ここで作られた麺は、藤翔製麺だけでなくラーメン店「幡龍」でも使用されています）

「カブセンター神田店」では、バックヤードでの作業を見せていただきました。鮮魚や精肉部門では魚や肉を切っているところや計量しラッピングする作業等を見ることができました。青果部門では、実際に大根のラッピングと値段貼りを体験させていただくこともできました。

各見学先で「働くために大切なことは何ですか」という質問をしたところ「毎日働く体力と規則正しい生活をする」と、どこでも同じ答えが返ってきました。

今回学んだことを一人一人がしっかり意識し、将来の進路実現のために必要な働く力を身に付けるために、校内実習や普段の学習に取り組んでほしいと思います。



中学部「校内実習」に5日間取り組みました！

中学部では、働くことへの関心や意欲を高め、進んで作業に取り組む態度や長時間の作業に根気強く取り組む体力を養うことを目的として、10月21日から25日までの5日間、校内実習を行いました。作業学習で行っている3つの班（木工班、リメイク班、クラフト班）に分かれ、黒養祭に向けた製品作りに取り組みました。

挨拶・返事・報告を中心に働くための基本を意識すると共に、1日いっぱい集中して働くことの大変さを感じた実習となりました。

